

平成25年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 地区行政の推進
-----	-----------

施策主管課	自治振興課	総合計画記載頁	141ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	VI 持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために	政策名 (基本施策名)	24 行政経営基盤を強化する	政策の達成目標 (基本施策目標)	本市の行政運営を効果的・効率的に行うことで、行政経営基盤が強化されています。
------	-----------------------------	----------------	----------------	---------------------	--

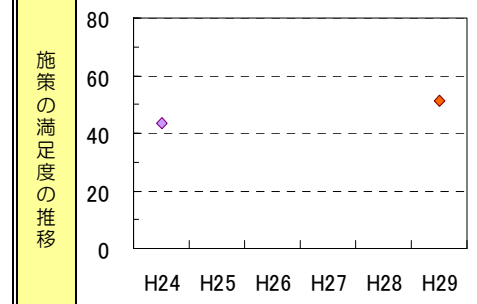
2 施策の取組状況

施策目標	地域に軸足を置いた行政が、効果的に展開されています。
------	----------------------------

指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	指標名(単位)		H24 (H23.3現在)	H25	H26	H27	H28	H29	評価									
① 施策指標	指標1 地区市民センターや出張所などの地域行政機関を利用しやすいと感じている市民の割合(%)	単年度目標値	71.3%	63.6%	65.7%	67.9%	70.0%	72.2%	B	② 中核市等との水準比較	中核市平均															
		現状値	61.4%								実績値															
		目標値(H29)	72.2%								単年度の達成度	86.1%														
① 施策指標	指標1	単年度目標値							③ 市民意識調査結果		中核市平均															
		現状値									実績値															
		目標値(H29)									単年度の達成度															
① 施策指標	指標1	単年度目標値								H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価										
		現状値															施策の満足度(%)	調査結果		43.4%						
		目標値(H29)																							目標値(H29)	51.1%

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{単年度目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{単年度目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※評価の考え方	施策指標	A: 達成度90%以上 B: 達成度70%~90%未満 C: 達成度70%未満
	中核市等との水準比較 (中核市での本市の順位)	A: 上位1/3(1~14位) B: 中位(15~28位) C: 下位1/3(29位以下)
	市民意識調査結果 (満足度)	A: 前年度より向上(2%超) B: 前年度同水準(±2%以内) C: 前年度より低下(−2%未満)

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆窓口業務の核となる職員の人材育成、保健福祉等の窓口サービスの拡充に取り組み、市民に身近な場所での総合行政サービスの展開の充実を図ったが、今後、更なる窓口サービスの拡充や利用者ニーズに的確に対応できるよう人材育成等に努める。 ◆地域振興機能や地域の窓口機能の強化について考え方を整理し、機能強化に係る基礎づくりを行ったことから、今後は具体的な取組について検討を進める。 ◆雀宮地区市民センターのエレベーター設置、オストメイト対応トイレ改修を実施したことにより、地域行政機関のバリアフリー化の推進を図った。 ◆河内地域自治センターの整備について、地域住民との意見交換を行いながら、地域自治センターと生涯学習センターの一体的整備の具体的な内容について検討を行い、整備概要をまとめた。 ◆「地域のまちづくりに関する施策の提案」を行うなど、円滑に地域自治会議の運営を行い、地域自治制度の充実を図った。 	市民満足度	進捗の状況	概ね順調
------	--	-------	-------	------

3 施策を構成する事業の状況

No.	事業名	戦略P・主要事業	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		開始年度	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物（誰・何に）	取組（何を）		
1	窓口職員人材育成システムの運営	○	市民生活に密着したサービスの充実	職員	地域行政機関の窓口業務に精通した専門職員（チューター）の育成	H21	地域行政機関における適正な窓口サービスの提供を実現するため、地域行政機関の窓口業務に精通した職員（チューター）を配置する。また、チューターの指導力向上に取り組んでいく。 継続的にチューターを養成・確保することで、OJTや研修を充実させ、窓口職員全体のスキルを向上させる。また、チューターが窓口職員を育成指導するために必要な業務知識・スキルを習得できるような研修を行う。
2	地域行政機関の取扱業務の見直し	○	市民生活に密着したサービスの充実	市民	地域行政機関で取扱う業務について、「市民の利便性の向上」と「行政の業務の効率性の確保」の両面から見直しを行う。	H21	市全体としてのサービス水準の更なる向上と効果的・効率的な業務執行を行うため、地域行政機関間における取扱業務の整合化に向けた、業務本課及び地域行政機関との調整を引続き行っていく。
3	地域振興機能・地域の窓口機能の強化	○	地域振興機能の強化	職員	地域住民の意見・ニーズの把握、地域の実情に応じた行政施策の展開のための仕組みづくりの検討	H24	地域の特性を生かした住民主体のまちづくりの推進のため、住民生活に関わりが深い分野の相談受付や意見聴取を行い、地域と行政が連携しながら課題解決を図ったり、地域課題・ニーズ等を把握し、地域の現状に応じたまちづくり活動の支援や地域で実施する施策事業へ反映できるよう、地域の窓口機能・地域振興機能の強化の具体的な取組について検討する。
4	地域行政機関施設整備	○	地域行政機関の施設整備	施設利用者	市民サービスや地域まちづくりの拠点となる支所及び出張所の施設整備	H元	地域自治センターについては、平成28年度の供用開始に向けて、整備内容等の検討を行っていく。 平成25年度はエレベーターを清原地区市民センターに設置するとともに、オストメイト対応トイレ未設置の地区市民センター6箇所については、オストメイト対応トイレへの改修工事を行い、バリアフリー化を推進していくとともに、施設の保全については計画的に行っていく。
5	地域自治会議の運営			上河内地域住民 河内地域住民	平成19年度から平成28年度までの10年間、合併基本計画の執行状況に関する答申や地域のまちづくりに関する施策の提案を行う地域自治会議を運営する。	H19	合併後の旧町地域が個性と活気あふれる魅力ある地域づくりを行い、住民一人ひとりが実感できる豊かさを創出するために設置された地域自治会議が、合併市町村基本計画の執行状況や地域のまちづくりに関する施策について、地域住民の声を反映させた答申や提案を市長に提出できるよう、円滑に地域自治会議を運営していく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆市民に身近な場所での総合行政サービスの展開において、市民生活に関わりが深い業務の拡充等による全市域における均質な行政サービスの提供と更なるサービスの充実、情報機器の活用等によるサービス提供の迅速化・効率化、多様化・複雑化する市民ニーズに対応できる窓口担当職員の人材育成が必要となっている。</p> <p>◆地域の特性を生かした住民主体のまちづくりの推進において、地域行政機関による地域課題の把握や課題解決の支援、地域と行政の調整機能の強化等が必要となっている。</p> <p>◆地域行政機関の整備において、新たな地域のまちづくりの拠点としての施設整備、施設のバリアフリー化・省エネルギー化や計画的な維持修繕による公有財産の有効活用が必要となっている。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉 市民に身近な場所である地域行政機関において、地域に軸足を置いたまちづくりを推進するため、市民の利便性の向上と生活に密着したサービスの充実を図っていくとともに、地域と行政を繋ぐ地域振興機能等の強化等を図り、地域行政機関の機能を強化する。</p> <p>〈主要事業〉 ◆市民生活に密着したサービスの充実 ◆地域と行政を繋ぐ地域振興機能の強化 ◆地域まちづくり拠点としての地域行政機関の施設整備</p> <p>〈その他個別事業〉</p>